

【12. 選択領域(6時間):すぐに役立つ指導法Ⅱ】

講習内容							
授業作り、学校における情報倫理の問題など、教師の実践的指導力を高めるのに必要とされる技法について学びます。取り上げる課題は、「情報倫理の取り扱い方」、「マルチメディア教材の活用法」です。「すぐに役立つ指導法Ⅰ」と併せて受講することが望ましいです。							
講座	講座テーマ	内 容			受講対象	時間	担当者
		講座概要	到達目標	キーワード			
⑫-1	情報倫理 データの取り扱い 統計数理	前半では、情報機器(パソコン・携帯端末等)を利用する際の情報倫理の基礎について紹介する。情報社会における人々の情報機器利用状況、情報とは何か、インターネットサービスにはどのようなものがあるかを概観し、情報セキュリティ・サイバー犯罪・個人情報漏えい・知的財産権などの項目について法的側面から情報倫理との関係性をとらえ、個人で情報機器を利用する際のメディアリテラシー向上について考える。 後半では、数理的意思決定手法AHPを解説し、実際に参加者にテーマを通してどのように活用できるか議論してもらい、モデルを通して数値結果を導出してもらう。	前半では、情報倫理の基礎を知ってもらい、中学生・高校生の教育に際してどのような留意が必要かを考察してもらいたい。後半では、数理的意思決定法を知ってもらうことで、実際の教育現場での意思決定の際に新たな視点を持ってもらいたい。さらに数理的意思決定が中等・高等教育にどのように役立てることができるかを考察してもらいたい。	情報倫理 数理的意思決定法	中・高等学校 教諭(全教員)	3	杉浦 伸
⑫-2	マルチメディア教材の活用法(教育コンテンツ論)	・コンピュータやその周辺機器の技術革新は、インターネットに代表されるネットワーク、通信システムの改革(「IT(情報技術)革命」)をもたらし、マルチメディアに対するニーズも多様化している。本講義は、学校教育におけるマルチメディア教材の利活用に関して、主に、授業設計と関連させて考察し、マルチメディア教材の活用、作成の演習を行う。	・マルチメディアの特性を理解し、授業設計の中でマルチメディア教材を位置づけることができる。	「マルチメディア教材」 「授業設計」 「自作教材」	中・高等学校 教諭(全教員)	3	平山 勉